

つたのは通信

特定非営利活動法人 としま遺跡調査会

考古学講座 ～町や城をあるく～



「豊島区の遺跡をあるく」町歩きの様子 染井通り周辺には遺跡が眠っています

毎年多くの方々にご好評いただいている当会の考古学講座が終了しました。今年度は豊島区内の遺跡を歩く講座を勤労福祉会館で、豊島区外の中世城館を歩く講座を、雑司が谷地域文化創造館で行いましたので、ご報告いたします。

勤労福祉会館講座「豊島区の遺跡をあるく」

9月から11月にかけて計3回の連続講座で行ないました。初回には座学で区内の遺跡について概要をお話しし、2回目以降は実際に埋蔵文化財包蔵地を巡り歩き、これまでの発掘調査で発見された遺跡について解説しました。染井遺跡や巣鴨遺跡がある駒込・巣鴨地域と池袋東貝塚、氷川神社裏貝塚、高松遺跡などがある谷端川流域を歩きました。参加者の年齢層は、60歳代～70歳代の方が中心でしたが、遺跡の巡り歩きは長い行程

にも関わらず、皆さん最後まで集中して参加されていました。今後はさらに多様な視点から遺跡を考える講座の企画を練っています。開催が決まりましたら、本誌にて予告しますので、奮ってご参加ください。(山崎吉弘)

雑司が谷地域文化創造館講座「戦国の城を歩こう」

例年勤労福祉会館で開講している考古学講座「中世の城を歩く」が、今年度は雑司が谷地域文化創造館で行われました。この講座は11月と12月の2回に分けて、座学と実際に中世の城跡に訪れて城の歴史や構造などを学びます。講師は当会の橋口理事で、毎年多くの人にご好評いただいている講座です。

1回目の座学では、中世と近世の城の違いや城郭の基本的な用語について、また2回目では訪れる



「戦国の城を歩く」 鉢形城にて

埼玉県寄居町の「鉢形城」について講義を行いました。この鉢形城は昨年度も訪れています。しかし、広大な敷地で1回の講座では全て

を見ることは困難であることから今回2度目の訪問となりました。今回の講義では、橋口理事が鉢形城の史跡整備に携わっている関係で、新たな発見などの最新の研究成果を、いち早く受講生にお話することができ、受講生は橋口理事の話を中心に聴き、写真を撮ったりメモを取ったりと、鉢形城の歴史を学んでいました。

真冬の寒さの中、2時間以上も城の中を歩きましたが、受講生は疲れを見せず、また参加したいとの声もあがりました。来年度以降もこの講座を続けていきたいと思ひます。(榎本邦人)

千早まちかど遺跡
ミュージアム

「長崎で発掘された古墳時代の住居」

ただ今開催中!

千早地域文化創造館で遺跡の展示を開催しています。今回は、長崎一丁目周辺遺跡で発見された古墳時代末期から奈良時代初期の住居跡についてご紹介する内容となっています。古墳時代まで遡る可能性が考えられる住居としては、区内で初めて発見された事例です。

住居跡は西部池袋線椎名町駅から徒歩で北へ5分ほどの場所で発見されました。竪穴住居で、北東部に竈がしつらえてありました。一辺が250cmほどの方形で、内部の広さは畳にして5畳ほどと小規模なつくりになっています。中で就寝すると多くても二人までしか入れない大きさです。室内からは、土師器の坏や須恵器の甕を転用した磨具などが出土しました。建物の使用者がここに捨てた品物と思われます。当時は、律令国家が誕生する直前の時期で、武蔵野の地域でも田畑の作りやすい大きな河川沿いの地域で主に人々が暮らしており、徐々に武蔵野台地の内部へ開拓が及ぼうとしていた時代でした。台地内部に位置する長崎

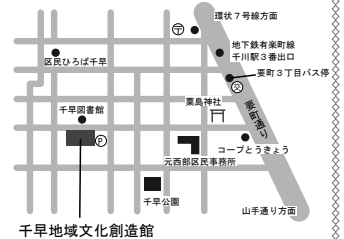
の地で発見された住居はこのような歴史的背景の一端を垣間見せてくれているのかもしれませんが。



展示の風景

展示では、住居跡から出土した遺物を並べ、写真や図面等を使って調査についてご紹介しています。実物をみていただける数少ない機会でありますので、是非ともご来臨ください。(山崎)

会 期：2月15日(日)まで
開館時間：9:00～21:00
※2月11日は休館となります。
問合せ先：千早地域文化創造館
豊島区千早 2-35-12
TEL:03-3974-1335



雑司が谷まちかど遺跡ミュージアム開催のお知らせ



例年地域の方々や雑司が谷観光に訪れた方々ご好評をいただいている「雑司が谷まちかど遺跡ミュージアム」が、今年度も雑司が谷案内処におきまして開催されます。今回は、昨年8月に案内処の裏手で行われた発掘調査速報などを展示する予定です。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

会 期：2月20日(金)～3月25日(水) ※木曜休館
会 場：雑司が谷案内処(雑司が谷 3-19-5)
開館時間：10:30～16:30
最寄り駅：都電荒川線鬼子母神前駅
東京メトロ副都心線雑司が谷駅
※徒歩1～2分です。
問合せ先：雑司が谷案内処(Tel 03-6912-5206)
入館料は無料です。



昨年の展示の様子

きんぷくまつりに参加しました

11月の22日と23日の二日間にわたって、豊島区立勤労福祉会館において「きんぷくまつり」が開催されました。

当会は、遺跡やそこから出土した遺物について写真パネルを用いた展示を催し、(公財)としま未来文化財団から委託を受けて、「としまものしり検定」を作成しました。検定は、展示の内容を踏まえて、小学生を対象として作りました。今回は、区内でも頻繁に発掘調査を実施する染井遺跡の津藩藤堂家屋敷と巣鴨遺跡の巣鴨町で発見された鍛冶屋について展示しました。小学生にはやや難しい内容かと思いましたが、お母さんと一緒に

頑張って挑戦してくれるお子さんもいました。また、展示見学者は二日間で延べ300人超にもなりました。日ごろ、当会の講座などに参加されない方

にも、区内の遺跡についてご紹介できる貴重な機会となりました。(山崎)



設営の様子

平成26年度事業報告・会計収支報告

平成26年11月15日に当会第8回定期総会が行われ、平成26年度(平成25年10月1日から平成26年9月30日まで)の事業報告とこれに伴う会計収支、また、役員等が決定致しましたので、ご報告いたします。

◎事業報告

1) 発掘調査

豊島区教育委員会と連携して区内20カ所で合計23件の埋蔵文化財試掘調査・本調査を実施しました。試掘調査の件数は昨年度の3倍以上になりましたが、本調査に至った事例は1件に留まりました。本調査が行われた旧感応寺境内遺跡では、新たに縄文時代の陥穴が発見されました。また遺跡指定区外である西巣鴨において試掘調査が行われ、縄文土器などが発見されました。

2) 整理調査・報告書刊行

報告書刊行に向けた整理作業は4件。豊島区埋蔵文化財調査報告3冊を編集、としま遺跡調査会調査報告1冊、豊島区遺跡調査会調査報告1冊を編集・刊行をしました。また、平成24年度に行った国庫補助対象事業の概報(試掘調査中心)を一冊にまとめた『豊島区埋蔵文化財調査概報集9』を編集しました。

3) 普及啓発

豊島区からの委託事業としては、平成25年11月に豊島区の文化財展2013を区役所本庁舎ロビーで開催、平成26年3月に東京地下鉄副都心線雑司が谷駅構内の雑司が谷遺跡紹介パネルの展示替えや、そのパネルの保守点検作業などを行っています。また、としま未来文化財団と連携した展示(雑司が谷地域文化創造館、巣鴨地域文化創造館、千早地域文化創造館)や、夏休みイベント『親子で「泥面子」をつくって遊ぼう』を実地しました。その他、賛助会員向けのイベントとして、『巣鴨町あるきと巣鴨地域文化創造館展示見学会』を行いました。

4) 人材育成

豊島区立勤労福祉会館と連携し、『豊島区の遺跡をあるく』、『中世の城をあるこう(健脚篇)』と題した区民講座を実地しました。また千早地域文化創造館で行われた『旧長崎なるほどゼミナールⅡ』にて、講義を行いました。(第4・5回)

<平成25年度 会計収支決算>

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
会費収入	24,000	
賛助会費収入	41,000	
入会金収入	5,000	70,000
2 受取寄付金		
寄付金	1,000	1,000
3 事業収入		
発掘調査事業	38,648,415	
整理調査事業	4,310,829	
報告書作成事業	7,890,892	
普及啓発事業	674,503	
人材育成費	87,000	51,611,639
3 補助金等収入		
短期借入金収入	0	0
5 その他収入		
利息収入	4,783	
雑収入	0	4,783
収入合計(A)		51,687,422

科 目	金 額	
II 支出の部		
1 事業費		
(1)人件費	12,520,415	
(2)その他経費		
外注費	32,434,277	
交通費	7,880	
通信費	0	
消耗品費	2,486,871	
(印刷費含む)		47,449,443
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	1,989,162	
法定福利費	114,330	
福利厚生費	252,200	2,355,692
(2)その他経費		
交通費	5,510	
通信費	20,268	
消耗品費(印刷費含む)	141,163	
支払手数料	132,113	
賃借料	177,500	
リース料	540,750	
租税公課	864,983	
雑費	0	1,882,287
支出合計(B)		51,687,422

当期収支差額(A)-(B) 0

前期繰越収支差額(C) 0

合計(A)-(B)+(C) 0

<平成25年度 会費収支決算>

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
正会費収入	24,000	
賛助会費収入	41,000	
入会金収入	5,000	
寄付金	1,000	71,000
2 その他収入		
利息収入	56	56
収入合計(A)		71,056

科 目	金 額	
II 支出の部		
1 会費・入会金支出		
会報送送料	11,418	
総会資料送送料	1,490	12,908
ハガキ・郵送料	3,500	
総会会場費	3,400	
講座参加費	2,100	
総会交通費	3,000	
カードケース	630	
封筒・のり	3,709	16,339
支出合計(B)		29,247

当期収支差額(A)-(B) 41,809

前期繰越収支差額(C) 244,221

【編集後記】

🍷千早に続き、雑司が谷でも展示が開催されます。今年も様々な展示やイベントを予定しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。☺

編集・発行



特定非営利活動法人
としま遺跡調査会

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-8-9 巣鴨複合施設201号室

Tel・Fax 03-3915-6962

E-mail tics389@a.toshima.ne.jp

ホームページアドレス: <http://www.toshima-iseki.org/>

題字: 湯澤和子

ロゴデザイン: 石原幸

イラスト: 榎本邦人

「つたのは通信」の由来: 葛は大きな樹ではありませんが、生命力が非常に強い植物です。この葛の葉が周囲の樹木や建物につたい茂るように、多くの人に遺跡の楽しさ、大切さを知ってもらいたいとの願いを込めて会報の名としました。また、染井遺跡を代表する大名屋敷である津藩藤堂家の家紋としても、馴染み深い植物です。